

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1 参加者 L 宮島、保木本、千賀、大石（山スキー4名）、中原、義間（徒歩2名）
以上6名

2 日目は宮島、保木本、大石の3名

2 山城・ルート 乗鞍岳

3 交通手段 車

4 行動記録

3/17(土)かもしかりフト最上部（ツアーコース開始点）09:29－10:46 ツアーコース終点
13:21 蚕玉岳 13:23－13:28 乗鞍岳頂上小屋－13:33 乗鞍岳 13:40－13:42 乗鞍岳頂上小屋 13:46
－13:47 蚕玉岳 14:03－14:03 乗鞍岳頂上小屋－14:57 ツアーコース終点 14:59－15:31 かもし
かりフト最上部（ツアーコース開始点）－16:01 乗鞍岳スキー場

3/18(日) 乗鞍岳スキー場→位ヶ原分岐→乗鞍岳スキー場

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a 山行は予定の内容・日程で行動出来たか

3/17(土) 山スキー組は山頂まで行けた。天気が快晴で風が弱かったのが幸いした。

3/18(日) 天候が下り坂だったので位ヶ原分岐で引き返した。

b 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか 発生した場合は具体的に記す 特になし

C その他、ルートに関する情報・気がついた事等

山頂からのコルはザラメで快適滑走ができた。一方で肩の小屋から下はアイスバーンあり、またその下はつぼ足の跡が固まってボコボコで滑走もいまいち。

写真・感想はヤマレコ参照

報告者氏名 宮島 平成30年4月4日

以下ヤマレコより転載

3/17(土)

会のメンバーと乗鞍岳山スキーへ。乗鞍岳は5月、もしくは6月頭まで滑れるところなので、板納めに行くところと認識していたが、3月に行ってみることに。事前にKMSCメンバーに聞いたところ、独立峰で風が強いので肩の小屋よりも上は滑れないとのこと。直前

にメンバー追加があり、スキー4名と徒歩2名の変則混成部隊となった。

天気は快晴、土曜日は風も弱い。どうも2週間前に続いて晴れ女がいるようだ。ありがたい。

山頂付近の稜線から谷を滑り降りる2名がいた。アイスパーンかと思ったら結構雪煙りが出ている。これは稜線から滑走できるのでは！？

徒歩2名は肩の小屋から引き返す。スキーとは下りのスピードが違うからしょうがない。というか約1名はよく知らずに連れてこられ、登り始めてようやく気が付いた。でも、きっちりと躊躇なく山頂をあきらめて肩の小屋で引き返す決断をしたのだからえらい。ここで突っ込むとえらいことになる。

スキー4名は引き続き山頂へ向かうが、肩の小屋からは風も強く雪面も硬い。3名は板を置いてアイゼンに切り替えるが、自分はいつもこれくらいの斜度はスキーで登っているし、先行に2名ほど同様に登っているの、そのままスキーで登る。しかし、稜線の少し下で行き詰ってしまい（キックターンするとコケて滑落しそう）、急斜面でクトーをつけようとするが、なんとVOLIEの直付けクトーの回す部分が凍ってしまい付けられない！しょうがないので板を外してアイゼンに切り替えたが、なにぶん斜面での板はずし、アイゼンつけ、ザックへのシートラーゲンになり、慎重に作業をしたが気持ちが悪かった。作業に手間取ってアイゼン3名に遅れてしまった。

稜線でドロップしようとしている方がおり少し話をさせていただいた。行けそうだ。なんとか山頂までシートラーゲンで到着。少し稜線を戻りここからが本番。斜面の先は見えづらいが硬くはなさそう。さてドロップ！

なんと快適な斜面！！適度なザラメでまったくひっかかりがなく、ゲレンデスキーのように滑り降りれた。最高です。

降りきって3名と合流。肩の小屋の下の方がアイスパーンがときどきできており良くない。さらに位ヶ原分岐下は、つぼ足の足跡が凍ってガタガタの硬い斜面で最低でした。最後はゲレンデを滑って戻る。途中でモーグルコースに入ってしまう、約2名ほどに苦労させてしまいました。到着は徒歩組から遅れること1時間弱。徒歩の場合はリフトには乗れないとのこと。

美鈴荘に泊まったが飯はうまくて量もあり良かった。

3/18(日)

メンバーは3名に減ったが、懲りずにもう一度登る。しかし本日は風が強め。稜線からは雪煙りが舞っていた。天候も下り坂なので位ヶ原分岐で終わりにして下った。相変わらず下りが長い。

美鈴荘に2泊目。日曜夜なので他に客なし。

3/19(月)

朝から小雨のため、本日は中止にして、朝から帰る。